

● 持続可能な地域活動援助モデル構築事業

最終アウトカム
(上位目的)

地域全体で子どもを育てられるような地域になる

中間アウトカム
(戦略目的)

子どもの居場所づくり団体×母子生活支援施設との連携により、公的・専門機関との協働が生まれ、居場所に繋がる子ども達とその保護者を見守る力が高まる

目的達成のための直接アウトカムとその活動

母子生活支援施設等福祉施設に食支援機能が付与され、施設対象者・退所世帯や地域に開かれた施設として活用されるようになる。

- ・共同冷蔵(冷凍)庫等の設置・活用、運搬車両の購入・手配、食品庫(保管庫)の整備など、複数団体が食の確保をできるようになるための活動
- ・施設対象者向けのフードパントリー開催や戸別訪問によるアウトリーチ活動に食支援を活用する
- ・こども食堂の会場として施設を活用する。

母子生活支援施設等福祉施設が持つ専門的機能を地域の子どもの居場所づくり団体の運営に還元し、協力関係が築かれる。

- ・活動地域で子ども支援を行う関係機関との学習会を開催する
- ・母子生活支援施設等福祉施設の役割の周知を図る
- ・他団体に対する寄付食品や物品の斡旋(マッチングのための数量調整、配送・運搬手配合含む)
- ・こども食堂開催時に出張して個別相談にのる